

A photograph of a traditional Japanese street, likely in a historic district. The street is paved and lined with traditional wooden buildings. On the right, there are several lanterns hanging from the buildings, including a large one with the characters '御神燈' (Mikandō) written on it. The sky is overcast, and the overall atmosphere is quiet and traditional.

第2回「地域フォーラム」

橿原市のまちづくりと土地利用のあり方

令和2年10月25日

橿原市長 亀田忠彦

橿原市について



『橿原市』

面積 : 39.56km²

人口 : 121,483人
(令和2年10月1日現在)

市街化区域 17.51km²

うち住居系の用途地域
約70%

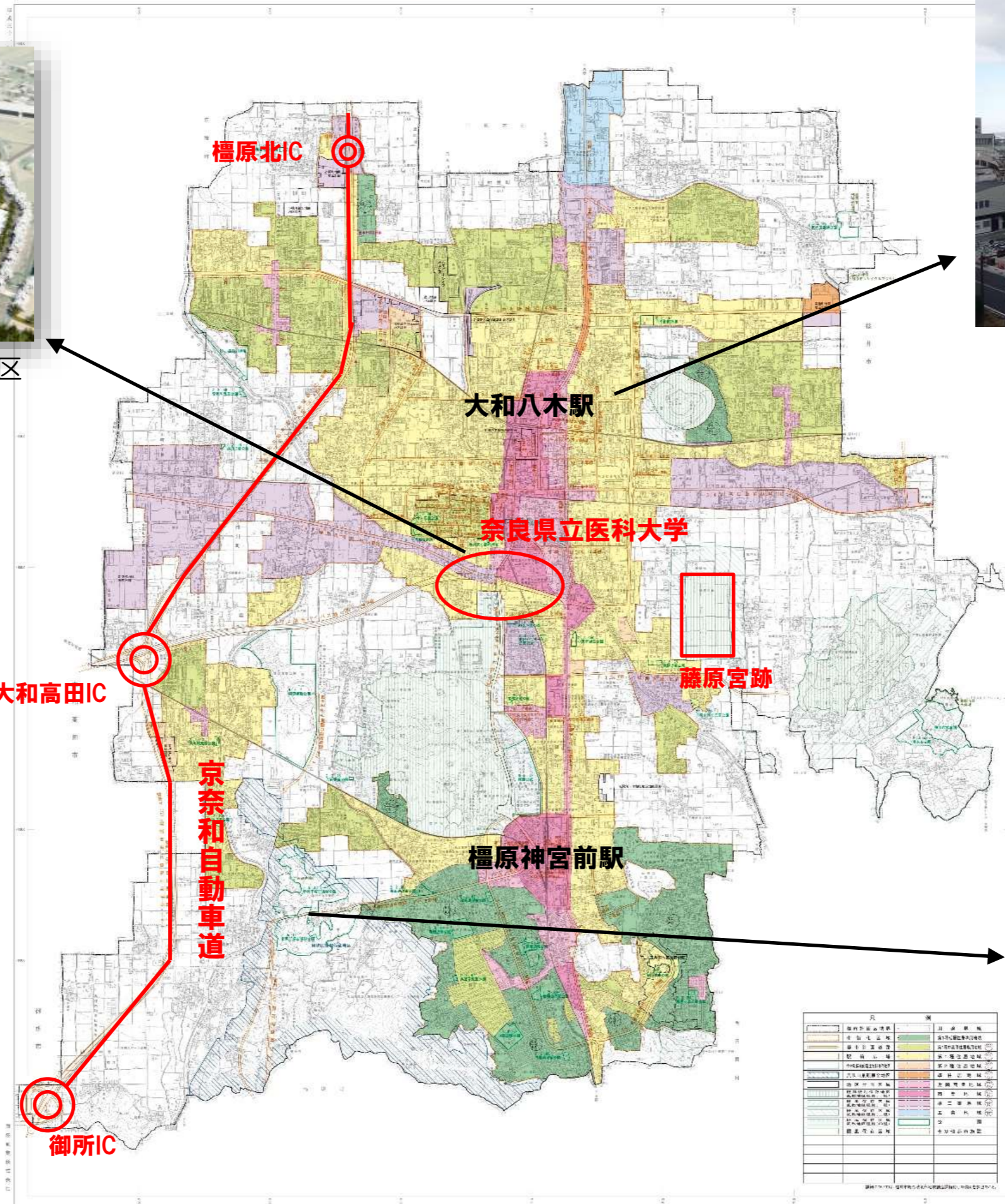
橿原市のまちづくり

橿原市都市計画図

(新キャンパス イメージ)



医大周辺地区



大和八木駅周辺地区

(新沢千塚古墳群公園)



橿原神宮前駅周辺地区

橿原市のまちづくり

1. 京奈和自動車道沿道ゾーン

2. 藤原宮跡周辺ゾーン

3. 医大周辺ゾーン

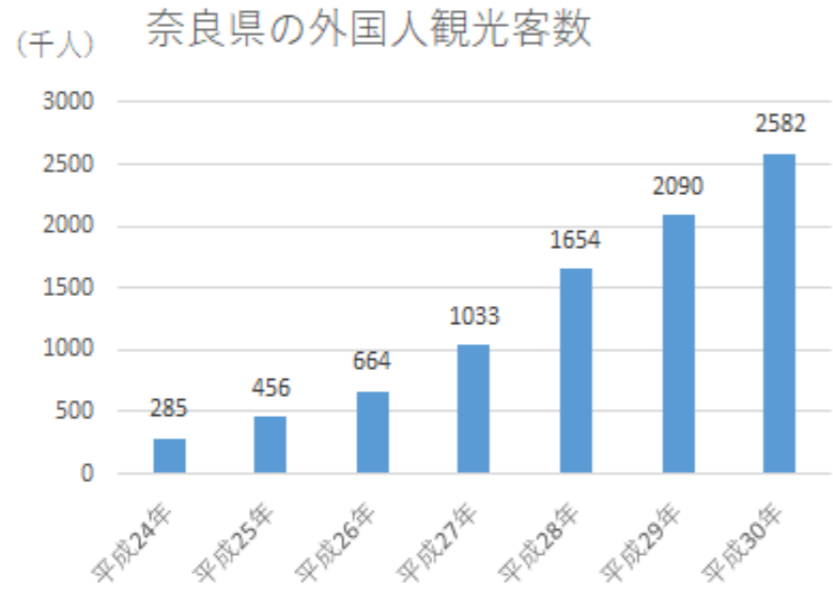
京奈和自動車道



<紀淡連絡道路実現期成同盟会事務局HPより引用>

京奈和自動車道

県内各地や他の府県とのアクセス性の飛躍的向上が図られる。
地域活性化のために早期整備が必要不可欠。



【世界遺産】古都奈良の文化財



【世界遺産】法隆寺地域の仏教建造物



国土交通省報道資料より

【世界遺産】紀伊山地の霊場と参詣道



整備中の京奈和自動車道



〈奈良国道事務所HPより引用〉



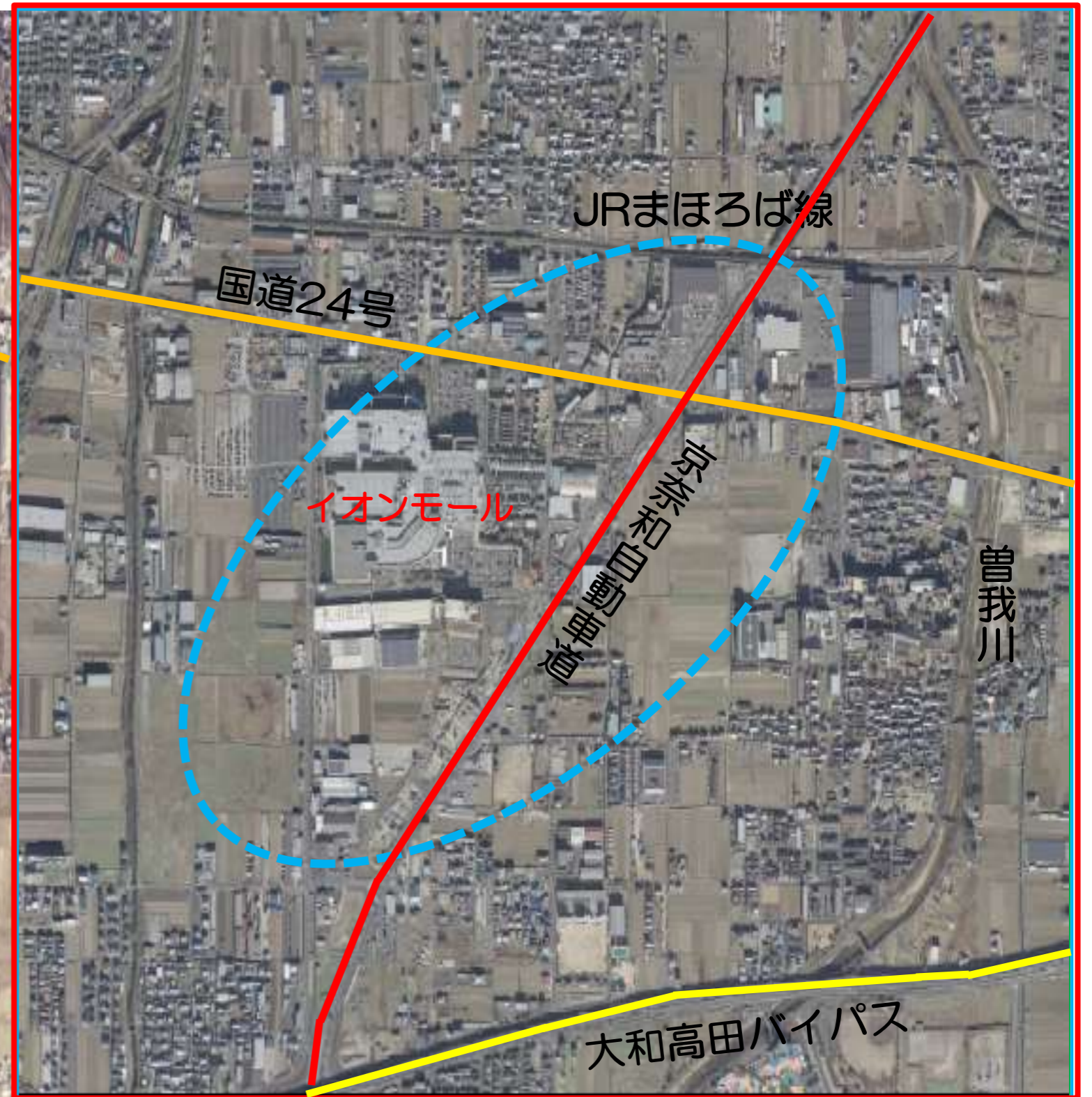
京奈和自動車道沿道（橿原市曲川町周辺）

昭和50年頃



<国土地理院 電子国土Webから引用>

現在



～橿原市の一大商業集積地～

京奈和自動車道沿道（橿原市観音寺町周辺）

昭和50年頃



<国土地理院 電子国土Webから引用>

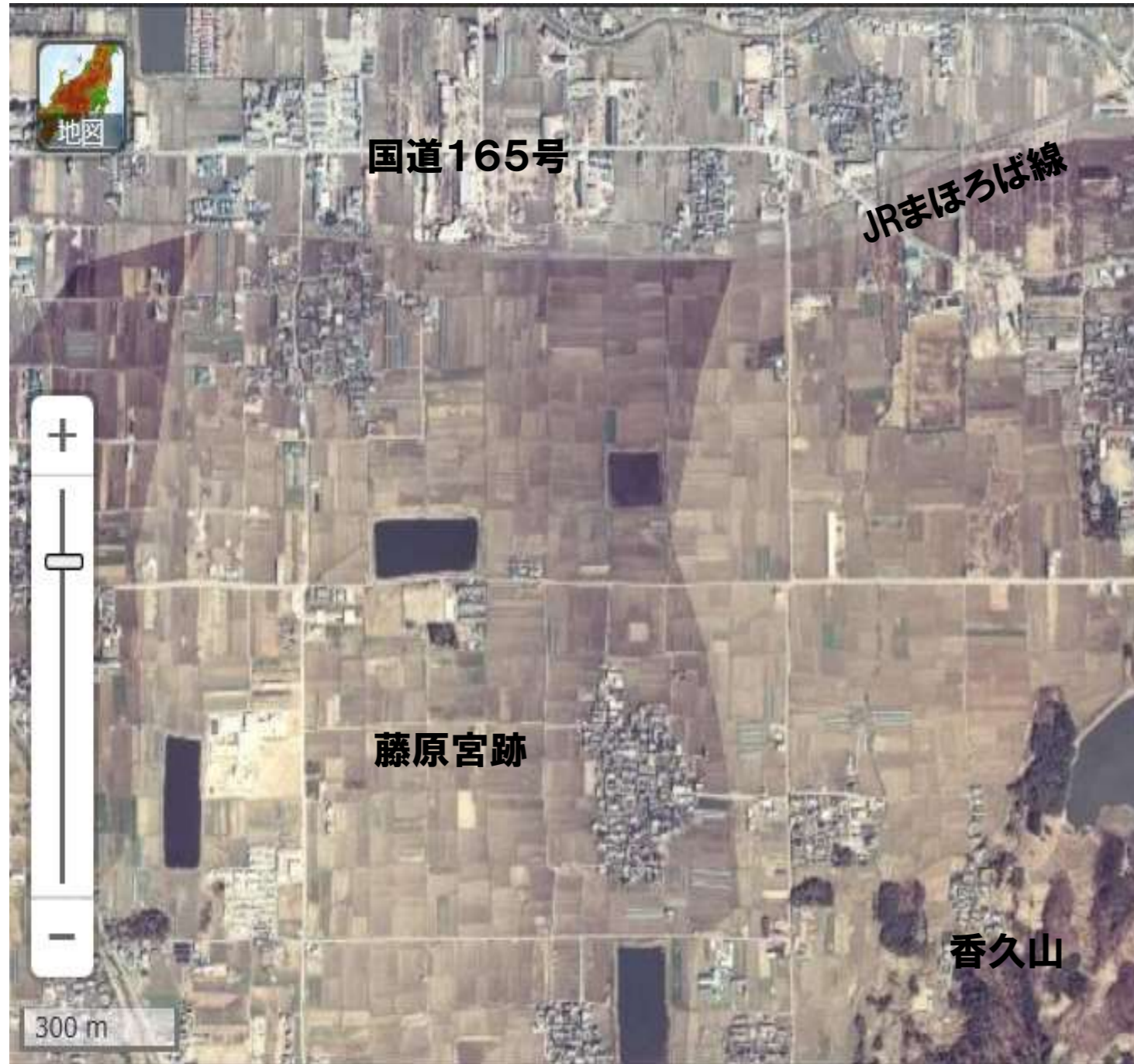
現在



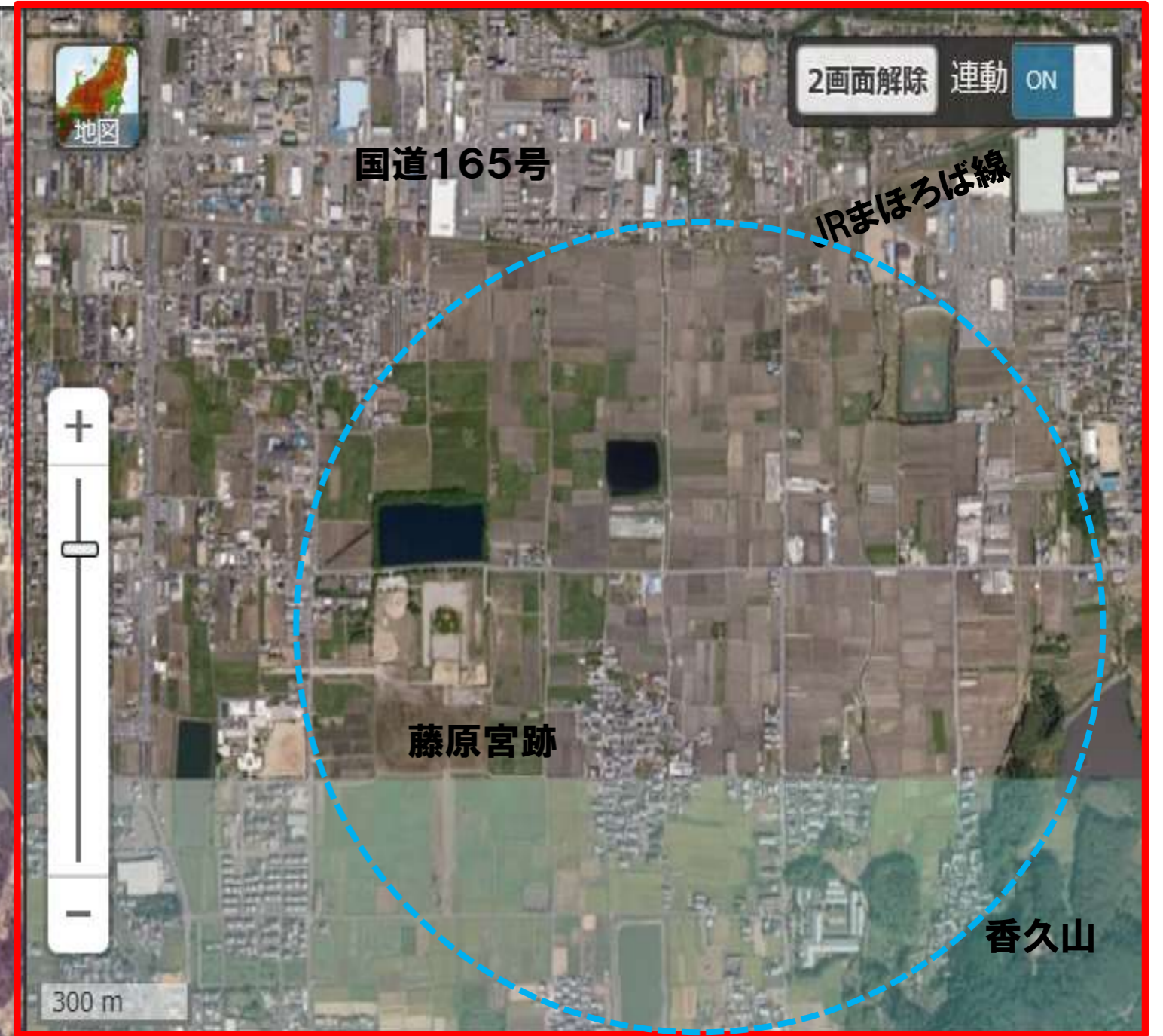
～京奈和自動車道を活かした
企業誘致と企業支援

藤原宮跡周辺

昭和50年頃



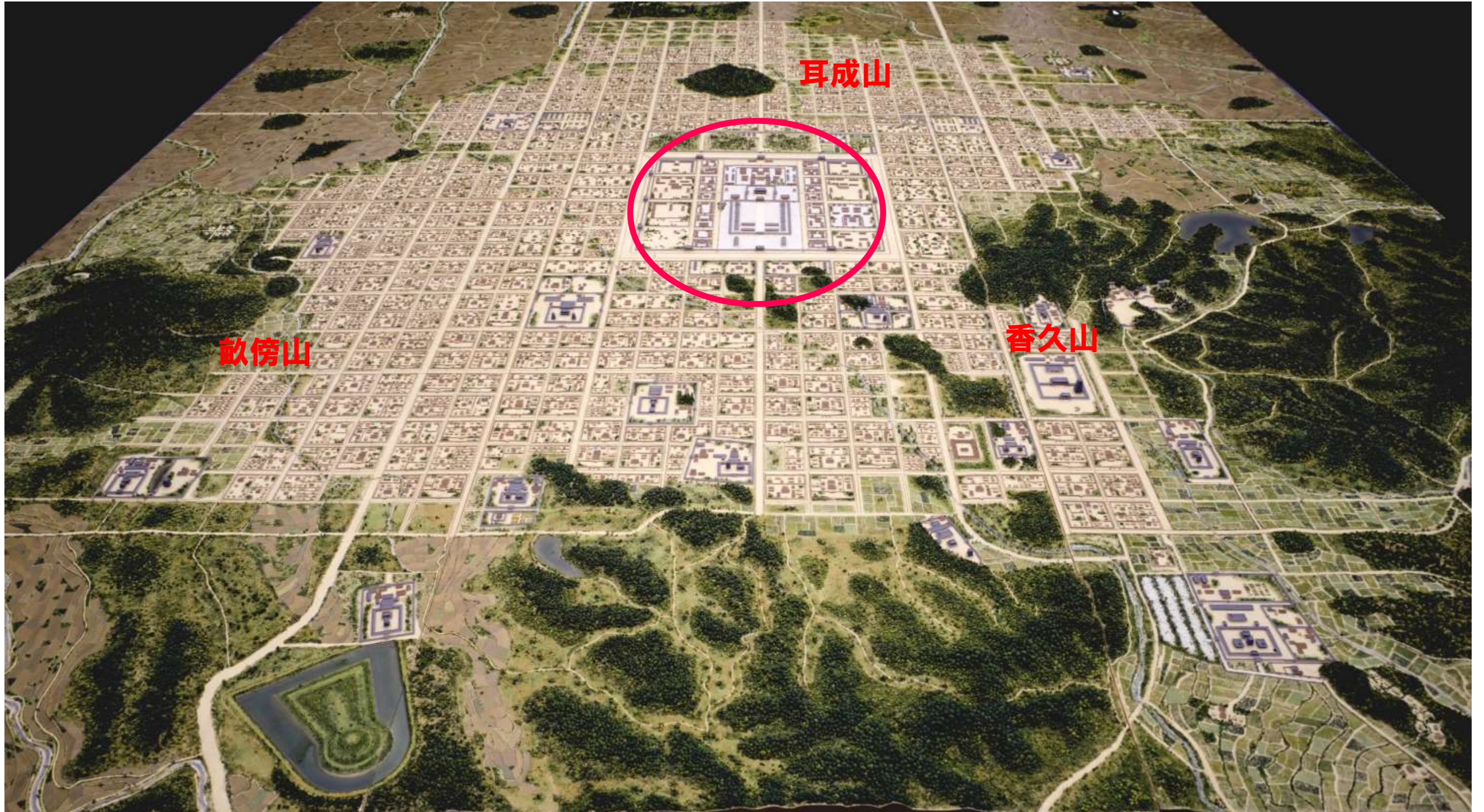
現在



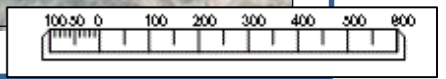
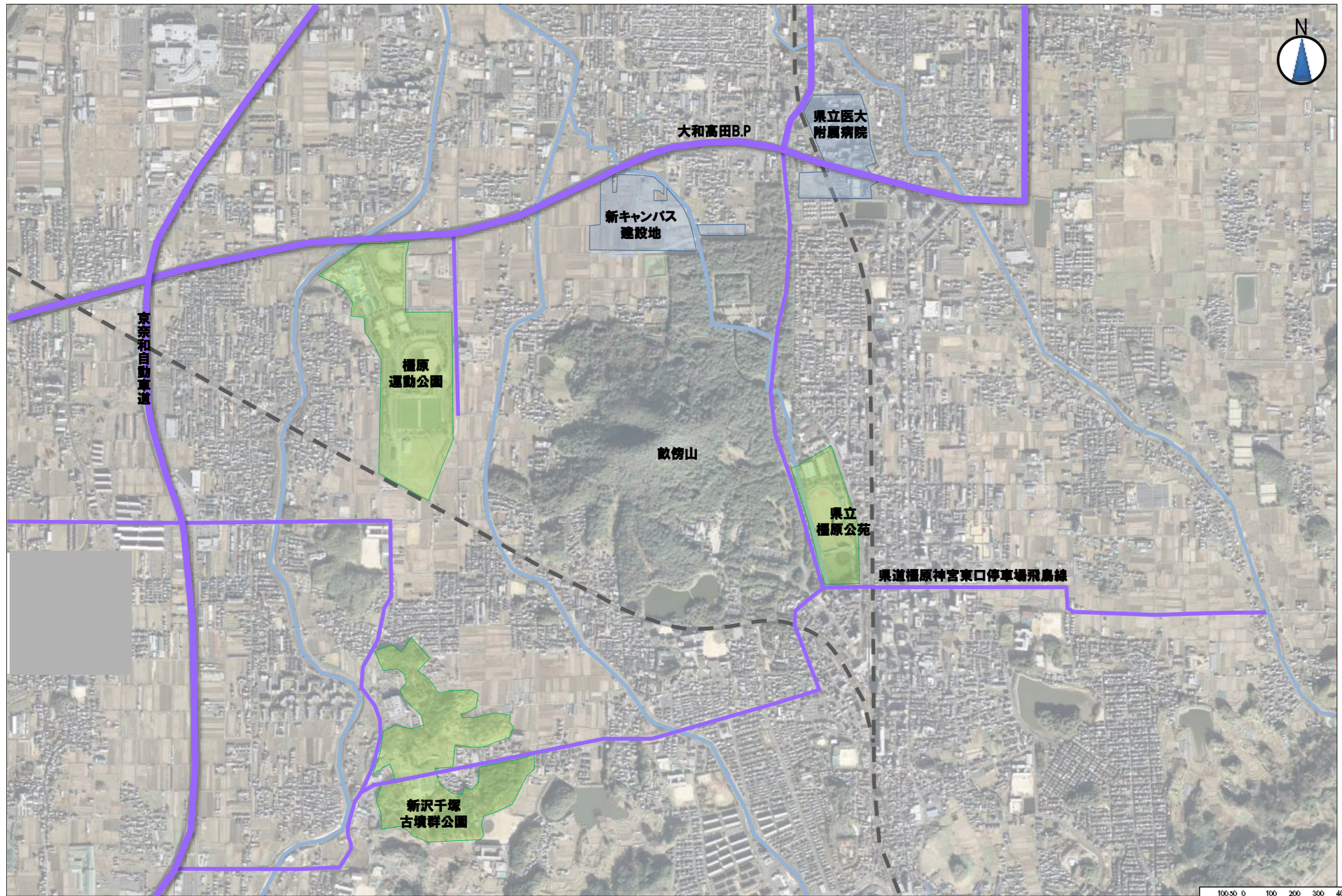
<国土地理院 電子国土Webから引用>

自然環境・歴史資産
を守り、活かすまちづくり

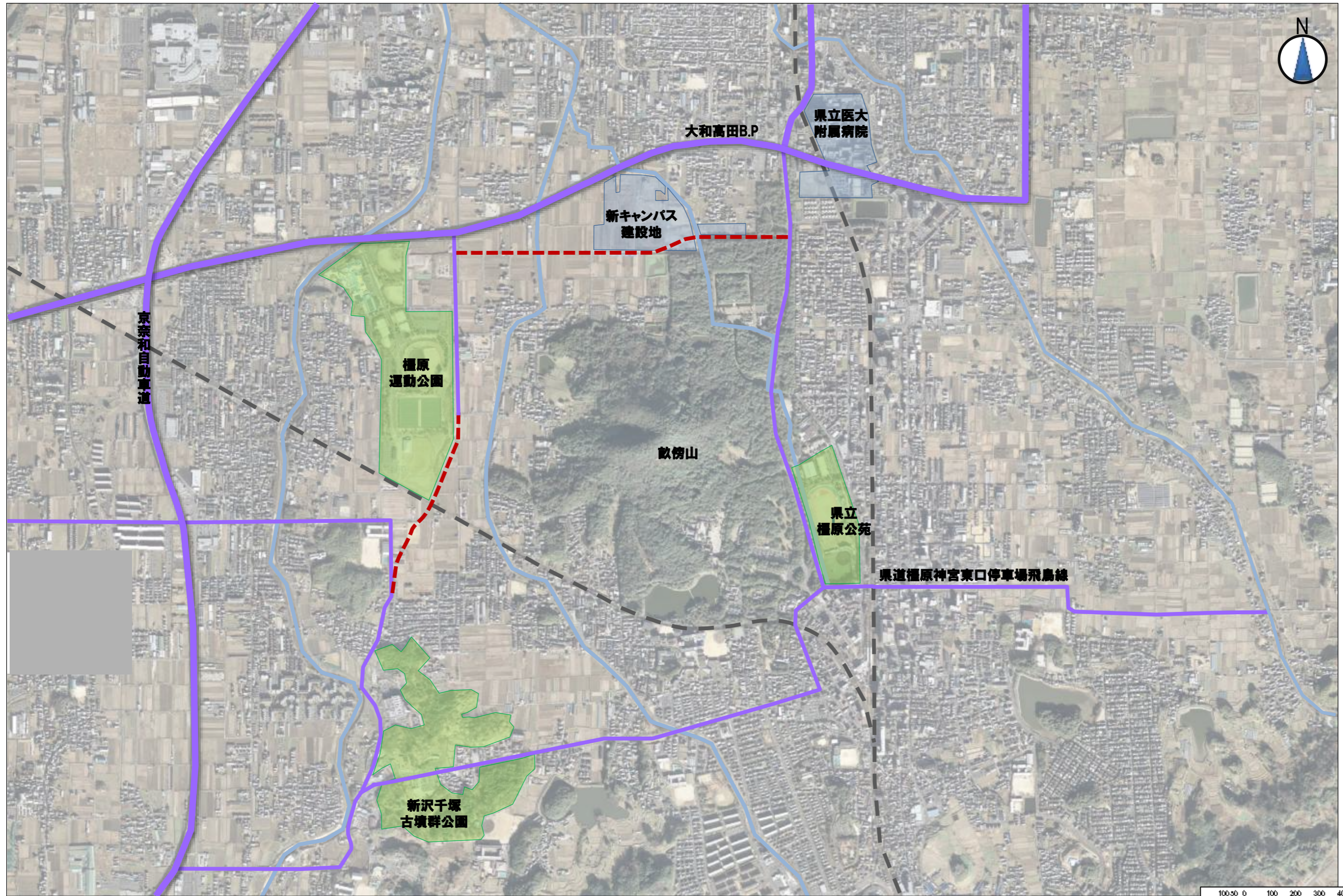
藤原京復元模型



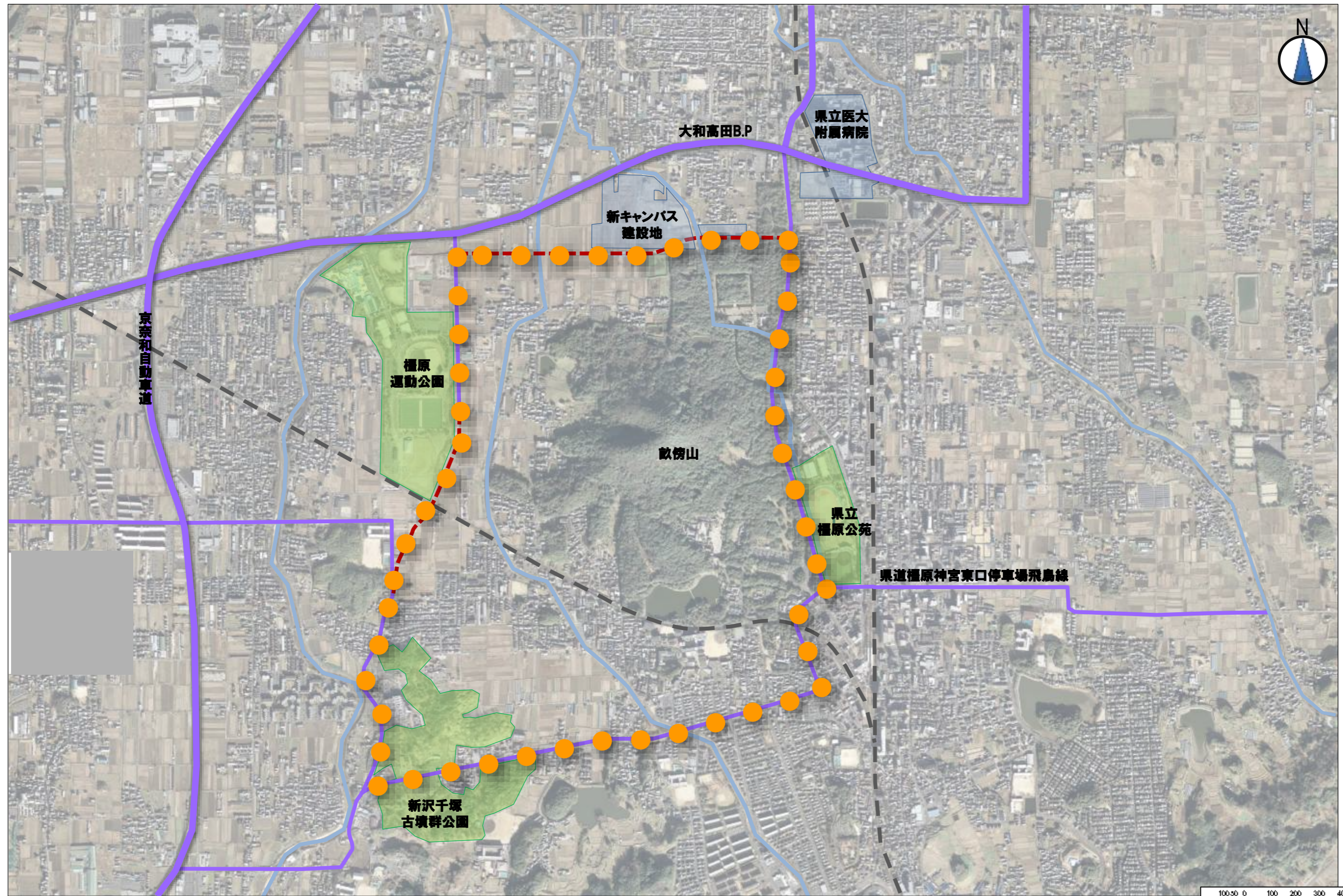
医大と連携した健康増進のまちづくり



医大と連携した健康増進のまちづくり



医大と連携した健康増進のまちづくり



医大と連携した健康増進のまちづくり

「奈良県と橿原市とのまちづくりに関する包括協定」

- ・医大周辺地区
 - ・橿原神宮前駅周辺地区
- 畝傍山外郭環状道路 一周 約8km



まちなか ウォーカブルの推進 「スポーツ」×「健康」×「医学」

●医学や先端技術を活用したスマート・パークの導入実験

体温、脈拍、体重、血圧、酸素量、筋肉量

既存のスマートウォッチなど

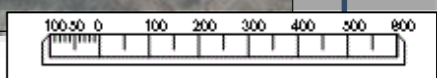
ビッグデータ、バイタルデータをクラウド管理

収益事業スキームの検討

- ・維持管理費の削減効果
- ・料金体系
- ・健康ポイントの付与

居心地が良く歩きたくなるまちなか

Walkable	歩きたくなる	居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。
Eye level	まちに開かれた1階	歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えやすくと、人は歩いて楽しくなる。
Diversity	多様な人の多様な用途、使い方	多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。
Open	開かれた空間が心地良い	歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。



医大と連携した健康増進のまちづくり

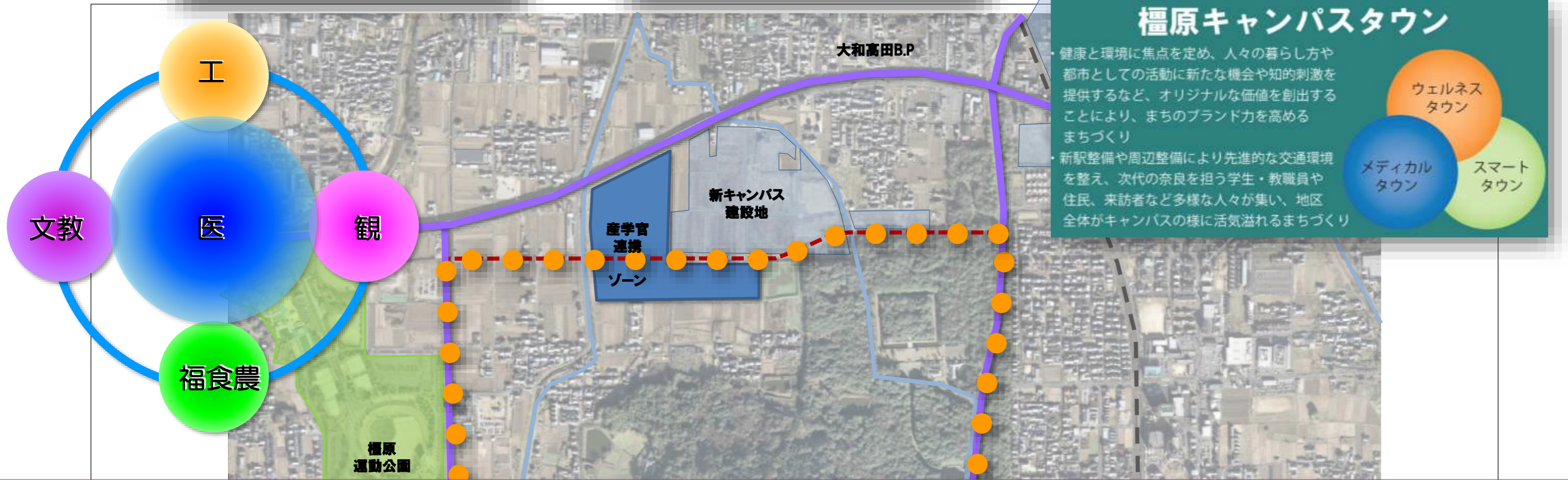
新キャンパス西 まちづくり(案)



新キャンパス イメージパース



県立医大附属病院 イメージパース



檀原キャンパスタウン

健康と環境に焦点を定め、人々の暮らし方や都市としての活動に新たな機会や知的刺激を提供するなど、オリジナルな価値を創出することにより、まちのブランド力を高めるまちづくり

新駅整備や周辺整備により先進的な交通環境を整え、次代の奈良を担う学生・教職員や住民、来訪者など多様な人々が集い、地区全体がキャンパスの様に活気溢れるまちづくり

ウェルネスタウン
メディカルタウン
スマートタウン

産学官連携ゾーン 約10ha

- H27年度: 土地利用可能性調査
- H28年度: 土地利用構想の検討
 - ・まちづくり勉強会4回
 - ・企業、地元の意向調査
- H29年度: まちづくり協議会立上げ支援
 - ・まちづくり勉強会5回
- H30年度: まちづくり協議会運営支援
- R 1年度: 事業化検討アドバイザー選定

今後の方針

医大新キャンパス周辺地区まちづくり協議会
 ⇒「土地区画整理準備組合」⇒「土地区画整理組合」
 「業務代行予定者」 「業務代行者」

地区計画を定めるとともに、周囲の環境や新キャンパスの建物など、景観にも配慮したまちづくりを目指す。